

令和2年度 アンケート調査の報告書

目的： 法人運営への参考及び運営改善等を目的とする
対象期間： 令和2年秋～令和2年度末
実地対象： 放課後等デイサービス職員及び、ご利用頂いている保護者様対象
調査方法： アンケート用紙を配布
調査結果： 調査結果は下記の通りです

放課後等デイサービス自己評価表

放課後クラブすっぱあ（管理者・職員用）

環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		1階と2階にも共有スペースがある。 狭いので、毎日外出している。
	職員の配置数は適切であるか	○			基準よりも多めである。
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	現在は必要とする利用者はいない。

業務改善

業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			朝礼等で情報共有し、個別支援計画に基づき実施している。	
保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年に1度アンケート調査を行い、業務改善を行っている。	
この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか	○			HPで公開している。	
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				○	今後、検討していきたい。
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、参加をしている。

適切な支援の提供

アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談やアセスメントを基に職員と情報共有をしながら、作成している。	
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一したアセスメントツールを使用している。	
活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			複数の職員の意見を取り入れている。	
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			新たな遊びを取り入れるようにしている。	
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				○	日常的動作の自立等の課題に対して細かく支援方法の設定を行っている。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				現状を基に、個別活動から集団活動に移行できるように、作成を行っている。
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				毎日、支援開始前に朝礼を行い、活動内容や支援内容について共有している。
支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか				○	伝達事項やヒヤリハットを記録し、次の日の朝礼で共有している。
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				毎日担当スタッフがケース記録を記入している。
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				定期的にモニタリングシートが届くので、職員間で確認している。
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				ガイドラインに沿っての支援を心がけている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			開催時は必ず責任者が参加している。
学校と情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			各学校で定期的に行われるデイ連絡会に参加。行事予定等、必要に応じて確認を取っている。今後、災害時の対応について共有したい。
医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在は医療的ケアが必要な利用者はいない。
就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	今年度は新小学1年生の利用はなかった。今後、情報提供があれば共有する。
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			就労事業所からの情報提供依頼があれば、都度対応している。
児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	助言を受けるまでは至っていないが、今後必要に応じて検討する。
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	新型コロナウイルス感染症対策として、今年度は行わなかった。
（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	出来るだけ参加するよう心がけている。
日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に直接お話をしたり、必要に応じて電話で状況等をお話して共通理解を図っている。
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			様々なケースに支援の助言を行うこともある。

保護者への説明責任等

運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っている。
保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や電話など、相談しやすい体制を整え、助言や支援を行っている。
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	新型コロナウイルス感染症対策として、開催しなかった。
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際は、出来るだけ速やかな対応を心がけている。
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年4回の会報発行と、ブログで活動内容を発信。毎月スケジュールをご家庭に配布している。
個人情報に十分注意しているか	○			情報を社外に持ち出さないよう注意している。
障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮はしているか	○			細かなことでもお伝えしている。
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新型コロナウイルス感染症対策として、外部の方をお招きする行事を行わなかった。

非常時等の対応

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを新たに策定した。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			事業所滞り時における避難行動について訓練を行った。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			入社時に行っている。
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			事業所内である程度の話合いはしており、実際にあった場合にも保護者に伝えるようにしている。
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在、指示書が必要な利用者はいない。保護者からの申告には、対応している。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			共有と対策の徹底を図っている。